

8月



十人十色

2020, 8, 6

縄瀬 保育園

山元 紀代美

NO9



(みんなちがってみんないっしょ!)

ゆりかごブランコ

連日の猛暑日。朝早く登園してくる子は、8:00になったら、『どろんこパンツ』に着替えて、水遊び準備オッケー。プールに水がたまるのを、楽しみに待っています。そして、8:30には、もうこの状態でした。

おおっ!と正直びっくりしましたが、これが毎日の縄瀬保育園の様子です。子ども達のたくましさを感じます。

その後も、プールで水遊び。歓声をあげながら、友達と水をかけあったり、泳ぐ真似をしたり・・・それはそれは楽しそう・・・

1時間から長い子で2時間遊ぶと『あがる!』と言って保育士にきれいにシャワーをしてもらって、水分補給。後は、木陰で遊んだり、絵本を見たりしてゆっくり過ごしています。

中には、木陰に設置した『ゆりかごブランコ』に揺られながら、休憩をしている子もいます。『ちょっとつかれた!』と言いながらゆらゆらと優しく揺られています・・・『大丈夫?』と声をかけながら様子を見てみると、しばらく自分のペースでまったりとした後、木陰で遊んでいる友達の中に入っていました。

何もせかされることなく、今、自分がどうしたいのかを自分で選択して、それを誰にも邪魔されず、遠目に大人に見守ってもらえ(担任はこの子の様子を全部把握していました)そして、ときどき、声をかけて



もらえる。こういう日常を本当に大切にしていきたいと思いました。プールでは、第2弾の子ども達が歓声をあげながら、遊んでいます。子ども達のプールの横で、アヒルのしろちゃん、くろちゃんも一緒に水遊びしている姿に大人は癒されています。きっとしろちゃん、くろちゃんは、自分たちをアヒルと思っていないかもと、大笑をしながら・・・



*「いま」を充実して生きることが豊かな未来につながる

育児に関する情報が氾濫している現代。育児に関する書物がたくさん出ていて、いろんな情報が飛び交い、子育てに一生懸命な保護者ほど、この情報に踊らされ、戸惑っていることでしょう。私たちの保育界にもいろんな保育の方法があります。和太鼓、マーチングがメインの保育園、早期教育を目玉にして、文字や数に取り組む保育園、身体機能を伸ばすために跳び箱や側転などの運動面に取り組む保育園、そして私たちみたいに、子どもが主体的に考えて行動できる事を大事にする保育園。

多くの親は『脳を育てる』『天才児に育てる』など将来に備えるために気持ちを振り回されることも少なくありません。子育ての悩みの多くは、こうした子どもの未来への心配や、他の子と比較することから始まるのではないかと。

「まだ起こっていない未来を先取りして心配しないこと。今、与えられている現在を感謝して受け、充実して生きるとき、未来はその中から思いがけないところへと開かれていく。」

子どもは本来スローで『現在』を生きる存在です。道を歩けば、すぐに立ち止まって、小さな虫を見つけ、夢中になって観察します。大人はいつも何かに追われ、早く目的地に生きてくたくたくイライラするのですが、子ども達は目の前の『現実』が大事なのです。子どもの個性もいろいろでゆっくり育つ子もいるのです。早く早く焦るよりもその子らしい『現実』を充実させることの方が結果的に、一歩先の豊かな未来を生み出していくのではないのでしょうか? 参考文献 大豆生田啓友先生『子育てを元気にすることは』